



～タシケント～
～タシケント～



人口230万人を抱えるウズベキスタンの首都。歴史は紀元前2世紀頃まで、さかのぼるオアシス都市で中国の歴史書にも「石の町」という名前で登場していました。1867年、ロシアがこの町を占拠し、ヨーロッパ的な都市を建築しました。古い町並みはチャルスーバザールのあたりに残っています。



ティムール博物館 The State Museum of Timurids History

address: 1, Amir Temur str.

Tel 371-2320211, 2320212

大きな青いドームの博物館。ティムールの生涯や当時の建物、民族衣装などが展示されています。

工芸博物館 Museum of Applied Arts of Uzbekistan

address: 15, Rakatboshi str

Tel 371-563943, 564042

ウズベキスタン各地から集められた伝統工芸品が、ロシア公使の私邸だった建物の中に集められています。刺繍の壁掛け、陶器などが美しい。

ウズベキスタン歴史博物館 State Museum of History Museum

address: 3, Sharof Rashidov

Tel 371-239-1779, 239-1083

先史時代から現代までウズベキスタンの歴史がたどれるようになっています。最大の見ものはテルメズ近郊のファヤーズ・テベ遺跡から出土したクシャン朝時代の小さな仏像です。

チャルスーバザール Bazaar

青緑色のドームがついた屋内バザールとその周辺に出店がでています。食料品が豊富。



クカリダシュのメドレセ Kukeldash Madrasah

シャイバニ朝の大臣クカリダシュによって16世紀に建てられた神学校。ソ連時代は閉鎖されていましたが、独立後、活動を再開しています。



バラクハーンのメドレセ Barak-Khan Madrassah

16世紀シャイバニ朝のバラク・ハーンによって建てられた神学校。ソ連時代から中央アジアのイスラム教全般を管轄していました。



ジュマ・モスク Khazret Imam

バラクハーンのメドレセの向かいにある16世紀のモスクで、現在はタシケントの金曜モスクとして活動しています。



ナヴォイ・オペラ・バレエ劇場 Navoi Opera and Ballet Theatre

1947年完成した1500人収容の劇場。レリーフなどの内装が素晴らしく、目の前の噴水は水が吹き上がると綿花に見えるようにデザインされています。実は第2次世界大戦後、旧満州から強制連行された日本兵などの抑留者が建設に参加した建物。

